

世田谷の元気な産業が見えてくる

# せたがや エコノミックス

TAKE FREE

No.48  
SETAGAYA ECONOmix

平成30年(2018年)9月15日



特集

## 未来を見据えた 駅前複合商業施設 松陰PLAT

TOPICS

区男女共同参画・多文化共生条例の制定  
せたがや産業フェスタ2018開催



少し離れて眺めると、かつてアパートだった名残が見える「松陰PLAT」



世田谷  
いいところ、  
見つけた

## 未来を見据えた駅前複合商業施設 松陰PLAT(プラット)

### 創業50年を機に エリアマネジメント事業を加速

「松陰PLAT」の運営会社「松陰会館」の社名は「地域の人たちが集まれる場所をつくる」そんな理念を持って名づけられたそうです。開業より先に社名を決めたというこの会社は、地域にエネルギーを供給するプロパンガスの販売からスタートし、二代目社長の時から不動産賃貸業も開始。人々の生活を支えるインフラを主な事業内容に、地元に着目して半世紀以上の歴史を刻んでいます。そんな松陰会館が創業50年を機に始めた企画が「shoin style」というコミュニティスペースで、三代目となる佐藤芳秋さんが「創業時の思い」を具体化したものの。その後も商店街を盛り上げる活動や、地域情報を発信するWebサイト「せたがやソーン」を立ち上げて、本格的にエリアマネジメント事業を加速。そうして2016年にオープンしたのが複合商業施設「松陰PLAT」です。



道路に面した1階は雑貨屋や花屋などお洒落なお店が並ぶ



黒板は松陰会館からのお知らせだけでなく子どもたちが描く絵などいつも賑やか



2階は学校のような廊下がありどこか懐かしい雰囲気



キッチンカーも松陰PLATの一部こちらはレンタルも可能

### まちづくりは 未来への投資

松陰神社前駅の横にあった築50年以上の木造2階建てアパートをリノベーションして作られたという松陰PLATは、お洒落さと懐かしさを同時に感じさせる外観で、駅周辺のまちなみと雰囲気がピッタリ重なります。イメージは現代風の長屋で、特徴となる大きな階段は「まちのランドマークになる」という思いを込めて作られたそうです。施設内に入るテナントは、衣食住のうち「衣」と「住」を取り扱うお店が中心。これは佐藤さんたちが駅前商店街を盛り上げる活動をしたときに飲食店が大幅に増えたため、「飲食店以外を」という地域の声を聞いた結果とのこと。店主の人となりを重視して選ばれたお店はどれも个性的で、地域の人々がぶらっと立ち寄るのはもちろん、地域外の人がこの町を訪れる魅力にもなっているようです。「私たちはインフラベースでずっとやってきているので、できるなら緑の下の方の力持ち的存在でありたい。まちづくりっぽいことをやっているのは未来への投資だと思っています」と言う佐藤さん。大階段の脇にある黒板は、地域の方のコミュニケーションツールにもなっています。そこに自由に描く子どもたちの姿を見ることも、佐藤さんの楽しみの一つとのこと。10年・20年先を見据えて動き始めた松陰PLATは、他の地域にとってもお手本となる可能性を秘めています。



生まれも育ちも松陰神社前という  
常務取締役の佐藤芳秋さん

株式会社 松陰会館

世田谷4-13-19

TEL:03-5450-8881

<https://shoinkaikan.com>